

第2回柏市地域生活支援センター 連絡調整会議

平成29年2月24日（金）に第2回柏市地域生活支援センター連絡調整会議が開催されました。

この会議は柏市より事業の委託を受けている、柏市地域生活支援センターあいネットで実施される事業の概要を共有し、関係機関と相互に連携を図り、事業を円滑に行う事を目的に開催されています。

平成28年のあいネット実績報告の後、「就労支援準備事業を中心に支援を行ったケース」「家計相談を中心に支援を行ったケース」について、意見交換を行いました。問題を抱えていても、本人の認識の欠如や経済的な問題、複雑な家族構成、成育歴、病歴等 色々な要因が関係しあっている事を再認識しました。

制度の狭間に落ちてしまう事の無いよう、あいネットは伴走型の支援を基本としています。今後も関係機関の皆様と連携を密にし、支援を継続する必要性を感じました。



お知らせ

こちらのコーナーへ掲載希望の方はあいネットまで
(TEL: 04-7165-8707 FAX: 04-7165-8709)

第11回ニート・ひきこもり親セミナー 移りゆく現代、ひきこもりを考える これから家族でできること

講演 斎藤 環 医学博士

1961年、岩手県生まれ。筑波大学医学専門学群卒業。医学博士。筑波大学大学院社会精神保健学研究室教授。専門は思春期・青年期の精神病理、及び病跡学。ひきこもり問題の治療・支援ならびに啓発活動に取り組んでいる。著書に「社会的ひきこもり-終わらない思春期」(PHP新書)「ひきこもり救済マニュアル」(PHP研)他

【日時】平成29年4月8日(土) 13:30~16:50(13:00開場)

講演会 13:30~15:30 / 無料相談会 15:40~16:50

【会場】ウェルネス柏4階大会議室 柏市柏下65-1

【参加費】1,000円(資料代:ご夫婦・当事者1家族)



【申込み】必要 ※締切:3月31日(金) 講演会:80家族100名まで / 無料相談会:先着30組

【問合せ】認定NPO法人キャリアデザイン研究所

TEL/FAX: 04-7162-7771 / 04-7100-1950

URL: <http://www.npo-cdi.org/>



<お詫び>

先月号の「柏うお〜か〜」でご紹介した、『おしゃべりばー「きゃべつ」』の問い合わせ、連絡先を記載が漏れておりました。

たくさんのお問い合わせをいただき、ありがとうございました。



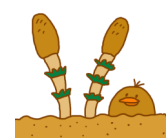
おしゃべりばー
「きゃべつ」



〒277-0005

柏市柏3-11-27アーバンパルク2階

☎04-7170-1068



「じんけん」ぽん

(2017.3/No155)

発行日 2017/3/27

社会福祉法人生活クラブ

柏市地域生活支援セン

ター あいネット

〒277-0004

柏市柏下65-1

ウェルネス柏内

電話: 04(7165)8707

FAX: 04(7165)8709

目次

あいネット 運営委員会	1
あいネット 運営委員会	2
就労準備支援室 より	3
連絡調整会議	4
お知らせ	4

～ひとこと～
2月末からくしゃみ・鼻水が始まりました。花粉症デビュー! ?と少し浮き足立ちました。健康だけが取り柄だった私は、病気＝深窓＝はかない感じ、と少し懂っていたのですが、鼻が赤くなるだけで、はかなさとは無縁でした。ちなみにただの風邪と判明、デビューは持越しました。

あいネット運営委員会 ～実績報告から～

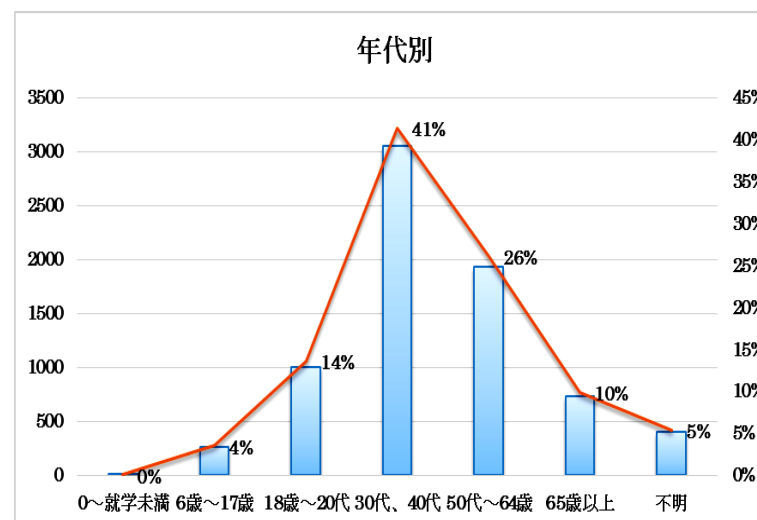
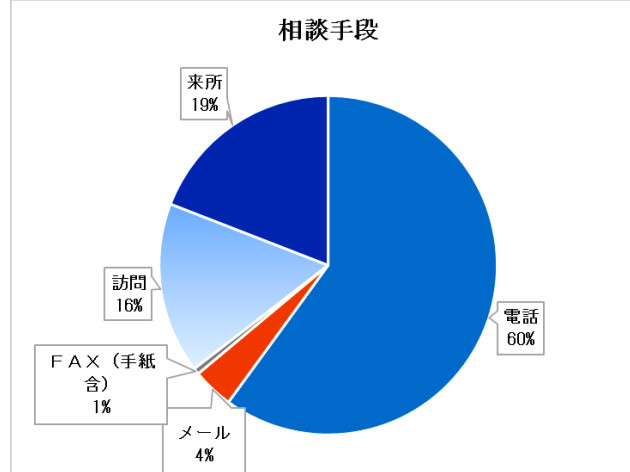
2月15日、柏市内の関係機関にご出席いただいて、柏市地域生活支援センターあいネットの運営委員会が開催されました。年4回を開催していますが、今年は今回が4回目で最後の会議となりました。

会議の中では、あいネットの今年の実績報告(4月～12月)を中心に、またあいネットで実際に支援をした事例を発表させて頂き、さまざまな意見やアドバイスを頂いた内容となりました。

相談実績については、あいネットの相談件数は4月から12月までで述べ6650件となりました。年度途中ではありますが、昨年度よりも増加傾向となっています。

相談手段は、電話が一番多く、6割を占めています。次いで来所、訪問と続っていますが、例年では訪問の方が上回っていたのですが、今年は来所が上回りました。理由としては、生活困窮者支援事業が始まり、来所される方が増えたのではないかと推測されます。

年代別では、30代、40代が一番多くなりました。次いで50代から60代となっており、いわゆる働き盛りの稼働年齢層が一番多くなっています。この傾向は例年通りとなっています。



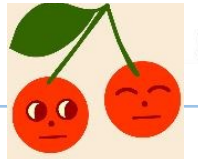
世帯別の傾向も例年通りで、単身の世帯が一番多くなりました。次いで「それ以外」の世帯ですが、夫婦だけとか親子などの家族世帯が多くなりました。これも例年通りの傾向となっています。

あいネット就労準備支援室より

就労準備支援室からは、就労についての情報をお届け致します。講座にもぜひご参加ください。

3月

免許・資格の書き方は？No.15



アルバイト経験を書くとき、書かないとき

アルバイト経験を書かない方がいいのは、①新卒の就活②正社員への転職のような場合です。逆に、アルバイト経験を積極的に書いた方が良い場合も結構あります。①アルバイト応募②派遣社員へ応募③正社員の後、派遣やアルバイトで働いた時期が長い場合④主婦の方が子供が手を離れたので再就職など、積極的にアルバイトの経験を書きます。

精神科デイケアの目的と効果 no14-3



精神科デイケアの目的と得られる効果とは

デイケアでは、他利用者さんとコミュニケーションを取っていく中で、対人関係を円滑に行うスキルを習得することができます。

また他利用者さんとの対人関係がうまくいかなかったり、トラブルになってしまったときも、その場に医療スタッフがいるため、相談しやすく、その場で問題点を修正しやすいというのもデイケアの大きなメリットです。

今月の講座案内

講座受講希望の方は日程調整いたします。ご連絡ください。

コミュニケーション講座

面接の模擬をしたり、気持ちが楽になるコミュニケーションの方法をお伝えします。ワークを通してスキルを高めましょう！

キャリア講座

自分を振り返りながら、仕事についても考えてみましょう！

パソコン講座

Word・Excelを通してパソコンの基本的な操作を覚えられるようお手伝いします。マンツーマンが基本ですので、ご自分のペースで練習する事ができます。

職場体験

ディサービス「あじさい」で高齢者が自立した生活ができるようお手伝いをします。車で送迎します。昼食代500円頂きます。

この講座は、生活困窮者自立促進支援法に基づく支援を利用されている方に向けてのプログラムです。対象ではない方で利用希望の方は電話でご相談ください。

例年と比べて変化が見られたのは、障害内訳です。例年だと、精神障害の方が一番多かったのですが、今年は障害の無い方が一番多くなりました。理由としてはやはり生活困窮者支援事業が始まり、障害の無い方が増えたためだと思います。

相談時間の内訳については、開所時間である8時30分から17時15分が一番多いのですが、あいネットは電話対応などを含めると24時間365日体制を取っているの、働いている方などは時間外になってしまうこともあります。そうした方の支援も増えてきているため、時間外や場合によっては土日の支援も増えてきています。

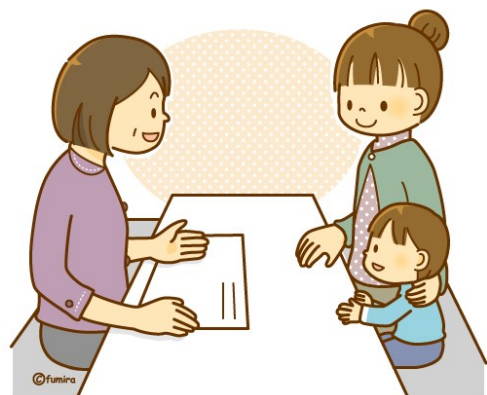
相談内容として、上位20項目を並べてみました。生活困窮者支援事業を行っているため、一番は経済的問題がトップになっています。お金が無くて生活が苦しいという訴えが一番多くなっています。次いで、福祉関係相談となっていますが、これは生活支援課や障害者相談支援室、保健所など関係機関との連携やつなぎを必要とされるケースの支援となります。

続いて仕事関係です。就労準備支援もあいネットでは行っているため、仕事が見つからない、仕事を探したい、仕事が続かないといった仕事に関する幅広い相談に応えています。

次いで住まいの問題です。家賃を滞納して家を追い出されそう、ホームレス状態になって住む家が見つからない、家を探しているが事情があって見つからないなどという相談内容が主なものになっています。

また、家計相談支援事業を行っていることから、借金などの返済についての多重債務問題や、金銭管理が出来なくて生活困窮に陥っているケースの相談などがあります。

全体的に、生活困窮者支援事業を開始してから、その影響を受けてきた結果が反映されている内容となりました。来年度に向けて、さらによりよい支援が出来るよう、今後ともあいネットとして取り組んでいきたいと思っています。



相談内容

